

（1）令和 6 年度公営企業会計決算状況

令和6年度 水道事業決算

収益的収支

(税抜)

費用

2,352百万円

1年度中に、水道水を家庭などに給水するための経費（維持管理費）と給水など事業により得た収入

収益

2,666百万円

給・配水管等の漏水修繕費
前年度比
114百万円の増

前年度比
27百万円の増

前年度比
86百万円の増

水を浄水する費用
452百万円

水を配水する費用
488百万円

事務費

減価償却費
資産減耗費
1,076百万円

利益 314百万円

水道料金
2,251百万円

補助金等

その他

前年度比
191百万円の増
(R6. 4月料金改定)

一般会計からの
補助
電力価格高騰に
対する補助金
65百万円

資本的収支

(税込)

支出

1,711百万円

水道管や浄水場などの施設を整備するための経費とそれに係る収入（企業債や工事負担金など）

収入

929百万円

建設費
1,088百万円

借金借入
790百万円

工事負担金等

借金の返済
623百万円

借金借入
前年度比
511百万円の増
(前年度繰越による)

不足額
△782百万円

不足分は
収益的収支の利益や
減価償却費などから
生じた積立金や
内部留保資金で補てん

減価償却費

固定資産の取得に要した経費を取得年度に一括計上せず、資産の価値の減少に応じてその使用期間全体に割り振って費用として計上していく方法。会計上発生する費用であるが、実際のお金の動きはない。

栃木市水道事業 令和6年度決算の状況は…

当期純利益（1年間の利益） 3.1億円（前年度比 8,600万円の増）

懸念材料

- ・一般会計からの臨時収入

（電力価格高騰に対する補助金 6,480万円）

- ・管路や施設の老朽化

（施設の強化や更新等に多くの資金が必要な状況）

◎利益は出ているものの、経営環境は非常に厳しい

令和6年度 下水道事業決算 (公共下水道事業)

収益的収支

(税抜)

費用

3,556百万円

収益

3,601百万円

流域下水道維持管理負担金が、前年度比136百万円の増

汚水処理費用
1,545百万円

その他

減価償却費
1,753百万円

利益 45百万円

前年度比
14百万円の増

前年度比
9百万円の減

下水道使用料
1,379百万円

補助金(基準内繰入金)
1,339百万円

補助金(基準外繰入金) 213百万円

その他

前年度比
140百万円の増

資本的収支

(税込)

支出

2,396百万円

収入

1,241百万円

建設費
880百万円

借金の返済
1,516百万円

借金借入
586百万円

国庫補助 214百万円

補助金(基準内繰入金) 117百万円

補助金(基準外繩入金) 299百万円

その他

不足額
△1,155百万円

基準内繩入金

国の定める基準により、下水道使用料で賄うべきではない費用に対する補助金
(雨水、水質保全、資本費の一部)

基準外繩入金

下水道料金で賄うべきものであるが、料金収入では賄いきれないものに対する
補助金 (赤字補てん)

令和6年度 下水道事業決算 (農業集落排水事業)

収益的収支

(税抜)

費用

428百万円

収益

429百万円

汚水処理費用
134百万円

その他

減価償却費
238百万円

利益 1百万円

下水道使用料
81百万円

補助金(基準内繰入金)
133百万円

補助金(基準外繰入金)
76百万円

その他

前年度比
7百万円の増

前年度比
25百万円の増

建設費 41百万円

借金の返済
140百万円

収入

55百万円

補助金(基準内繰入金) 80百万円

補助金(基準外繰入金) 53百万円

その他

不足額
△126百万円

資本的収支

(税込)

支出

181百万円

農業集落排水事業

大平地域・藤岡地域・西方地域の一部地域に
公共下水道と同様に汚水を処理するため
に整備されたもの



補助金（基準外）

公共下水道

H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
1,044百万円	964百万円	1,106百万円	774百万円	649百万円	572百万円	512百万円

農業集落排水

H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
116百万円	100百万円	102百万円	89百万円	95百万円	137百万円	129百万円

◎R6年度は、公共下水道・農業集落排水とも前年度より減少